

意見書案第1号

新型コロナウイルスワクチン接種に関する意見書

上記の意見書案を次のとおり提出します。

令和3年3月19日

提出者 つくば市議会議員 川 村 直 子

賛成者 つくば市議会議員 小 村 政 文
中 村 重 雄
高 野 文 男
五 頭 泰 誠
飯 岡 宏 之
橋 本 佳 子
金 子 和 雄

新型コロナウイルスワクチン接種に関する意見書

新型コロナウイルスワクチンの接種がいよいよ開始の運びとなった。これにより、新型コロナ感染症流行の抑制・重症化率の減少、医療現場の負担軽減が見込まれる等様々な期待があり、必要な方々に円滑かつ迅速にワクチン接種が実施できるよう接種体制の構築を行うことが重要である。

しかし一方、不安の声もあるのも事実である。

厚生労働省ホームページには、

- ・接種を受けることは強制ではなく、しっかり情報提供を行った上で、接種を受ける方の同意がある場合に限り接種する。
- ・予防接種による感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について理解した上で、自らの意志で接種を受ける。
- ・職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをしない。
- ・ワクチンの効果の持続期間や接種による集団免疫の効果は明らかになっていない。

と明記されている。

接種は、努力義務となっており、強制ではないので接種を控える方もいると考えられるが、ここで懸念されるのは、ワクチンを接種しない方への非難である。

これまでも、新型コロナウイルス陽性者や感染者への心無い中傷や同調圧力で多くの方が傷ついてきた経緯がある。そのようなことがないよう、しっかりと情報提供がされ、もしワクチンを接種しない選択をした場合でも非難されることのないよう配慮や対応をしていただきたいと考える。

よって、つくば市議会は、国に対し下記の事項を強く求めるものである。

記

- 1 ワクチン接種に当たっては、正確な情報に基づいて自己決定ができるよう、新型コロナウイルス感染症及びそのワクチンについての情報開示と提供が十分に行われること。
- 2 ワクチン接種に関して高い優先順位を与えられる医療や福祉の現場で勤務する人々が、接種をしなければ業務に従事できないといった同調圧力がかけられないよう、また、あくまでも個人の自己決定権が優先・尊重されるよう、特段の配慮と対応をすること。
- 3 接種の有無で、行動が制限されたり差別されるなど社会生活に支障を来たさぬよう、配慮をすること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和3年3月19日

つくば市議会

(提出先)

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

厚生労働大臣

(提案理由)

新型コロナウイルスワクチンの接種開始に際し、個人の自己決定権を尊重するよう、意見書を提出するものです。